



414
A1322



一 民費賦課法ニ就テハ本年六月心得書ヲ以テ各地
 方官ニ大意ヲ指示スルニ止マリ更ニ詳細ノ規則ヲ以
 テ人民ニ布スルニ及ハザル可キ歟
 一 類ハ各地方同一ナラザル可ラズト云レバ地方區
 畫並行政處置ハ未タ畫一ヲ要スルノ度ニ至ラス區
 長ノ配置ノ如キ各府縣各異同アリ今強テ之ヲ
 一定セントセバ各地方長官ノ為ニ多少ノ不便ヲ生シ地
 方人民モ亦改革ノ繁雜ヲ厭フニ至ラン故ニ今度又
 心得書ハ專ラ民費ノ事ヲ制之スルニ止マリテ地方
 行政制度ノ上ニ侵入スルニ勿レバキ歟
 一 心得書ハ左ノ大意數條ニ止マルヘキ歟
 後一 従前ノ民費ハ各縣混同シタルニ付今度

大正十一年四月
農商務省



三個ノ區別ヲ為シ甲ハ官費ニ歸シ丙ハ勝金
ノ類ニシテ人民ノ情願ニ任セ獨リ其乙ノ部
ヲ純粹ノ民費ト定ムヘシ(此事ニ係リテハ詳細
ノ説明ヲ要ス)

筭ニ 前條乙部ノ民費ノ概目ヲ示シ各府縣
ヨリ毎年八月限り前年ノ統計ヲ届出シ
又掲擧シテ人民ニ示シ其明治七年五月
三號ニ掲ケタル條目甲ト丙トノ部ニ涉ル者
ハ之ヲ削ル

筭ニ 村町并訟費非常費暴漲水陸ノ類豫
算ノ外ニ在ル者地租
改正調費村町借債割戻等ノ私費ニ係ル
ハ五分ノ一ノ外ニ在ル者ハ其專ラ各町村ノ便ニ
任ス

筭四 市街ノ地ハ地方ノ適宜ニ任スベシ

筭五 民費ノ戸數等ニ賦課スル者ハ其人民ノ
叶議ヨリ出ル者ハ制限ヲ用ニサルヲ除ク外各
府縣適宜ノ方法ヲ定ムヘシ而メ内務省ニ届出

一 大略右五條ニ出サル外區費町村費ノ區別豫算
決算取立拂出ノ方法等ハ總テ各地方ノ適宜ニ任
スベキ歟

